



オリーブライフ 小豆島

SHODOSHIMA

煌めく海、瞳輝く、実りのまち





寒霞溪ロープウェイ
☎0879-82-2171
年中無休



悠久の年月が作り上げた巨大な芸術品

瀬戸内海国立公園の中心的存在をなす寒霞溪は、日本の三大渓谷美の一つに数えられている名勝地で、その歴史は古く、応神天皇が鉤をかけて登った「鉤掛山」という名前が転じて「寒霞溪」と呼ばれるようになったとも伝えられています。200万の長い年月という芸術家の手によって創り上げられた奇岩怪岩、人を寄せ付けぬ断崖は大自然の不思議さ、偉大さを目の当たりにさせてくれます。表12景・裏8景からなる登山道の風景は必見で、特に岩と岩の合間を抜けて山頂まで続くロープウェイからは、溪谷美と

海岸美の両方を心ゆくまで堪能することが出来ます。

春の新緑、夏の深緑、秋の紅葉、冬の氷雪と四季折々に素晴らしい景観を見せてくれる寒霞溪は、その美しさを故に多くの人を引きつけてやまず、特に秋の紅葉時には多くの観光客が訪れます。ロープウェイ山頂駅広場には島の名産品を取り揃えた売店やレストランもあり、展望台からは、海山・空の雄大な景観をゆつくりと楽しむ島内随一の観光スポットとなっています。



天狗岩丁場にある大天狗岩

世界最大級の大坂城石垣を支えた島石

徳川大坂城の石垣は、17世紀における世界最大級の石造文化遺産といわれ、巨大で規格化された大量の石材を必要としたことから、戦国大名たちは小豆島をはじめとする瀬戸内海の島々等に丁場

を拓き、石を切り出し、大阪の地へ運びました。石垣には小豆島の丁場跡にある黒田家の刻印と同じものが刻まれており、小豆島の石が築城に使われた確かな証となっております。



四方指展望台
美しい原高原にある標高777mの展望台で、360°を見渡すことができます。ここから見る朝日の素晴らしさは格別なものがあります。島内には他にもたくさんの朝日・夕日のスポットがあります。



「道の駅」小豆島オリーブ公園 ☎0879-82-2200 年中無休 入場無料

瀬戸内海に浮かぶ オリーブの島

まるで地中海を思わせるような海のきらめきを見せる瀬戸内海。そこにはオリーブの緑が目にもまぶしい、自然に満ちあふれた美しい島が存在する。ここは神様が創られた島…

**「生命の木」を育む自然
失われかけていた
楽園がここにある**

瀬戸内の蒼く澄んだ海に浮かぶ、美しい小豆島。降りそぐ太陽の光と爽やかなそよ風、きらめく緑が島を優しく包んでいます。国生みの神話時代からの長い歴史を持つこの島は、今では失われつつある豊かな自然がいたる所に残されていて、島内には四季折々の美しい花が咲き、長い歳月をかけて自然の手が創り上げた素晴らしい景勝地が各所に存在しています。

また1908年に日本で初めてオリーブの栽培が始まった「日本のオリーブ発祥の地」として、小豆島を語るにはオリーブが欠かせません。町内の道沿いにはオリーブに関係した施設があり、その一帯はオリーブの丘と呼ばれ、オリジナル商品やお土産の販売、レストランや天然温泉なども併設され、誰もが楽しめる複合施設となっています。



内海湾に面した地域では、オリーブの木をたくさん観ることができます。緑鮮やかなオリーブ並木の中を柔かい海風が吹き抜け、まるでヨーロッパ地中海のような雰囲気を感じます。

オリーブ園 ☎0879-82-4260 年中無休 入場料無料

アートから生まれる 新たな物語

瀬戸内海の島々で開催された瀬戸内国際芸術祭により、小豆島に新たな風が吹き始めました。

アートが小豆島の文化や生活に溶け込み、島独自の風景を生かし、そこでしか表現できない作品を展開することで新しい価値を生み出しています。

作品を介して人と人との交流が生まれ、それをきっかけに、島に暮らす人たちや小豆島自体が活力を取り戻し、島の将来の展望につながるような取り組みがなされています。

大らかな海と大地 自然との一体感に感動



地中海を思わせる穏やかな紺碧の海はシーカヤック、海水浴、釣りなど多岐にわたって楽しめる、シーズン中には家族連れや多くの人で賑わいを見せます。